

NEWS RELEASE

北京中関村科金技術有限公司、マーキュリアインベストメント並びに あおぞら銀行における業務提携締結について

株式会社あおぞら銀行（代表取締役社長兼最高経営責任者(CEO)：馬場 信輔、以下「当行」）は、このたび、北京中関村科金技術有限公司（董事長：趙国慶、本社：中国北京市、以下「中科金社」）、株式会社マーキュリアインベストメント（代表取締役：豊島 俊弘、本店：東京都千代田区、以下「マーキュリア」）との3社間で、業務提携の覚書を締結いたしました。

中科金社は、中国でフィンテックを駆使した個人向け総合金融サービスを展開する、いわゆるユニコーン企業で、今後ますます拡大する中国国内やアジアでの資金ニーズに対して、テクノロジーとライセンスの両方を兼ね備えた企業として更なる成長を遂げるものと期待されています。

当行は、2018年10月、マーキュリアが組成する中科金社向けのターゲットファンド（投資対象があらかじめ確定しているタイプのファンド）に出資し、3社間での連携強化を図ってまいりました。今般、3社の更なる関係強化並びに事業拡大等を目的として、覚書締結の運びとなったものです。

なお、本件は、当行のアジア戦略の一環として、日中ビジネスの有力パートナーと業務提携を行うものです。当行は、本業務提携を通じて中科金社並びにマーキュリアと金融サービスで協業することにより、特に今後成長の見込める中国、さらにはアセアン地域等において、ビジネス展開を強化してまいります。

今後とも、当行はアジアにおいても真に信頼される“進化する「頼れる、もうひとつのパートナーバンク」”として、お客さまの経営課題やニーズにお応えするべく、各種サービスの向上に取り組んでまいります。

【業務提携締結日】

2019年2月8日

【業務提携概要】

- ・中国、日本、アセアン地域におけるフィンテック、デジタルテクノロジー分野等、新しいビジネス機会の共同発掘・展開、並びに付加価値の高いビジネスへの共同投資
- ・事業ノウハウやネットワーク等の活用を通じたマーケティング、海外進出等の相互支援
- ・フィンテックや金融業務の導入、コンサルティング等を通じた投資先などへのバリューアップサポート、並びに投資リターンの獲得

<中科金社について>

中科金社は、中国でフィンテックを駆使した個人向け総合金融サービスを展開する、いわゆるユニコーン企業です。2015年の設立以降、自社エンジニアにより、フィンテックに関連する400以上（内特許150件）の独自システムを開発するとともに、金融ライセンスに必要となるリスク管理体制やインフラの整備を行い、2017年より本格的なサービスを開始、その後、僅か1年強で、年間売上高2,000億円相当の規模にまで成長を遂げています。

中科金社のオンライン金融事業は既に急拡大を遂げており、消費者金融のみならず、保険、オートファイナンス等の分野でもフィンテックを駆使した個人向け総合金融サービスを展開し、今後も更なる事業拡大を目指しています。

<マーキュリアについて>

マーキュリアは、2005年設立の東証一部上場（7190）の投資運用会社で、「クロスボーダー」を投資コンセプトに、国境や既成概念の枠を超えることで広がる様々な投資機会に着目した投資を行っています。創業以来、日本国内のみならず、中国における情報通信事業や、環境保護事業等に投資を行い、また2013年には香港市場にSpringREITを上場するなど、中国市場を含むアジア諸国に広がるネットワークを生かし、アジア諸国での事業投資や資産投資の豊富な実績を有しています。

以上

（報道関係のお問合せ先：経営企画部 広報室 後藤 03-6752-1217）